

## 令和4年度決算について（概要）

### (1) 貸借対照表関係

学園の財政状態を貸借対照表によって説明すると、令和4年度末現在の資産の総額は、143億9,261万1,599円となった。その内訳は、有形固定資産103億4,830万196円、特定資産10億8,585万1,877円、その他の固定資産3億1,359万3,746円及び流動資産26億4,486万5,780円(内 未収金1億806万6,025円)である。

他方、負債の総額は、退職給与引当金、前受金など固定負債及び流動負債を合計して24億3,736万9,727円、基本金は、校地、校舎、機器備品、図書など教育研究に必要な資産の自己調達額を示す第1号基本金が167億9,725万7,733円、学校を恒常的に維持するための資金を示す第4号基本金が2億7,400万円となっている。

### (2) 資金収支計算書関係

令和4年度の資金収支の状況は、当該年度の収入額が34億5,219万4,821円、これに、前年度より繰り越された26億5,355万7,308円を加えると収入の部合計は、61億575万2,129円となった。

一方、支出額は、35億7,217万2,086円であったので、差引25億3,358万43円が翌年度の繰越支払資金となり、昨年度より1億1,997万7,265円減少した。これは、学生生徒納付金収入の減(-8,035万円)、支出における人件費支出の増(+9,951万円)によるものである。

### (3) 事業活動収支計算書関係

令和4年度の事業活動収支決算のうち、教育活動収支の概要について予算との対比で説明すると、収入については、学生生徒納付金、経常費等補助金および雑収入において予算額を上回り、手数料、寄付金、付随事業収入において予算額を下回った。

学生生徒等納付金については、25億284万6,400円、経常費等補助金は8億1,032万2,542円、手数料が4,280万8,736円、雑収入が1億966万3,033円となった。これらの結果、教育活動収入額は、予算を1億3,539万8,420円上回り、34億7,827万5,420円となった。

一方、支出については、人件費を除く教育研究経費、管理経費において予算額を下回りその結果、教育活動収支における教育活動支出額は、38億4,129万2,719円となった。

教育活動収支差額は△3億6,301万7,299円となり、その他の教育活動外収支差額及び特別収支差額を合わせて、基本金組入前当年度収支差額は、△3億5,125万7,462円となった。

また、基本金への組入額はなかったため基本金組入後の当年度収支差額は、△3億5,125万7,462円で、これに、前年度の繰越収支差額と基本金取崩額を合算した翌年度繰越収支差額は△51億1,601万5,861円となった。